

OTC漢方薬と使用上の注意について

現在、医療用とは別に一般用医薬品(OTC)として、さまざまな漢方薬が市場に流通していますが、使用にあたって注意が必要なことを認識していない人も多いようです。

OTC漢方薬の使用上の注意事項について説明します。

漢方薬の副作用

私たち日本人には、天然自然由来のものを信奉する傾向があるのでしょうか。動植物(植物が大部分)由来の生薬成分からなる漢方薬は副作用がなく、安全なものという認識を持つてしまうようです。しかし、漢方薬は医薬品である以上、副作用が全くないわけではありません。場合によっては重篤な副作用が現れることもあります。

主な「使用上の注意」

OTC漢方薬の添付文書には、ほかの一般用医薬品と同様に「使用上の注意」として「はいけな

いこと」が記載されています。「つてはけな」とは、守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる

という注意で、次のような事項が記載されています。

◆次の人は服用しないこと

- ① 生後三カ月未満の乳児(漢方薬全般に共通)
- ② 心臓病の診断を受けた人：急激に起こる筋肉のけいれんを伴う疼痛(こむらがえりなど)に使用される芍薬甘草湯は、うつ血性心不全、心室細動、心室頻拍といった重篤な副作用が報告されているため、特に心臓病の患者さんは注意が必要です。

③ 体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人)：風邪のひきはじめに使用される麻黄湯は、発汗作用が強い麻黄の一日最大配合量が多いため、体の虚弱な人が服用すると発汗過多や心悸亢進(心臓の鼓動が増加し、著しく気になる状態)が現れるおそれがあります。



④ 胃腸の弱い人、下痢しやすい人：排尿困難、多尿、老人性のかすみ目、足・腰の痛み、しびれ、かゆみ、むくみに使用される八味地黄丸は、食欲不振、胃腸障害、腹痛、胃部不快感、下痢など、消化器症状の副作用報告が多く、胃腸障害・下痢の副作用がある生薬成分の地黄の配合量が多いことから注意事項になっています。

◆短期間の服用にとどめ、連用は避けること

風邪の症状に使用される甘草湯、桂枝湯、香蘇散、風邪のひきはじめに使用される麻黄湯は、本来は短期間の服用に限られる漢方薬ですが、生薬成分の甘草により、尿量が減少して顔や手足がむくむ、まぶたが重くなる、手足がこわ

ばる、血圧が高くなる、頭痛等が現れるという重篤な副作用「偽アルドステロン症」を起こすおそれがあるため、短期間の使用を徹底する注意事項となっています

◆症状があるときのみの服用にとどめ、連用しないこと

前述したように、芍薬甘草湯は、うつ血性心不全、心室細動、心室頻拍などの重篤な副作用が報告されているため、心臓に持病がない人でも連用しないように記載されています。

◆本剤を服用している間は、他の瀉下薬(下剤)を服用しないこと

便秘に使用される大黃甘草湯、大黃牡丹皮湯、大柴胡湯、麻子仁丸、防風通聖散など、生薬成分に大黃を含むものは、大黃の成分で

あるセンノシドが大腸の働きを高め、水分量を増加させて瀉下作用(下剤の作用)を現すことから、他の瀉下薬(下剤)と併用すると激しい下痢が起こるおそれがあります。

◆授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けること

これも大黃を含むものに記載されています。大黃の成分が母乳に移行して、授乳により乳児が下痢を起こすことがあるため注意事項になっています。

「使用上の注意」には「相談すること」という項目もあり、医師(または歯科医師)の治療を受けている人、妊婦または妊娠していると思われる人、高齢者、記載事項に

該当する症状のある人、記載事項に該当する診断を受けた人などに対して、服用前、医師または薬剤師に相談することと記載しています。

漢方薬の中には間質性肺炎(痰を伴わない咳、息切れ、呼吸困難、発熱を主な症状とする)や肝機能障害などの重篤な副作用が報告されている例もあります。一般用医薬品(OTC)は一般の生活者が自らの責任において選択し、使用するものですが、添付文書を読んでも理解できないことがあるかもしれません。みなさんの日常の服薬状況などを知っている「かかりつけ薬局」の薬剤師に相談して理解を深めるようにしてください。

(秋田中央薬剤師会副会長 三浦鐵晃)

基準薬局リスト

能代市

赤玉薬局	☎0185-54-6074	FAX.52-3081
赤玉薬局駅前店	☎0185-53-4616	FAX.53-4619
赤玉薬局落合店	☎0185-89-1199	FAX.89-1210
河畔薬局	☎0185-52-3996	FAX.52-3997
きく薬局	☎0185-52-0345	FAX.52-0321
さいとう薬局	☎0185-89-1312	FAX.89-1314
のしろ佐野薬局	☎0185-89-1566	FAX.89-1567
ひがし薬局	☎0185-58-3878	FAX.58-3029
ピノキオ薬局	☎0185-53-5600	FAX.53-5660
やなぎ薬局	☎0185-54-6507	FAX.54-6533

山本郡

皆川薬局	☎0185-76-2052	FAX.76-2199
------	---------------	-------------

湯上市

飯田川調剤薬局	☎018-854-8272	FAX.854-8288
おゆげし調剤薬局	☎018-870-4555	FAX.870-4556
調剤薬局ぐっど	☎018-877-5670	FAX.877-7071
天王調剤薬局	☎018-878-6028	FAX.878-7230
ドラックチダ	☎018-878-3216	FAX.878-7751

南秋田郡

おおかたむら調剤薬局	☎0185-45-3172	FAX.45-2961
調剤薬局ワズファーマー	☎018-855-1102	FAX.855-1103
薬局エール湖東店	☎018-855-1212	FAX.855-1214

男鹿市

さかえ薬局	☎0185-24-3530	FAX.24-3554
チダ薬局男鹿店	☎0185-23-3586	FAX.23-2127
ひらつか薬局	☎0185-35-2765	FAX.35-4095
ふつと薬局	☎0185-22-7005	FAX.22-7006
みさき調剤薬局	☎0185-22-1102	FAX.22-1103



お薬手帳



基準薬局の看板

処方せん公文書の有効期限は
処方日を含めて**4日間**です。

秋田県薬剤師会

秋田市千秋久保町6-6 TEL.018-833-2334
E-mail info@akiyaku.or.jp
http://www.akiyaku.or.jp